

## 東京都ペストコントロール協会技術委員会の活動

公益社団法人 東京都ペストコントロール協会 技術委員長 谷川 力

我々、技術委員は私のほか元木貢理事、メンバーは伊藤弘文(東京三洋株式会社)、木村悟朗(イカリ消毒株式会社)、小松謙之(株式会社シーアイシー)、佐々木健(アペックス産業株式会社)、峯岸利充(国際衛生株式会社)、渡邊賢太郎(帝装化成株式会社)、渡邊徹(株式会社中央社) (以上アイウエオ順)が参加している。そして、担当副会長として清水一郎理事、技術顧問として国立感染症研究所名誉所員の安居院宣昭先生がサポートしている。この中には博士号の取得者5名、防除作業監督者9名、ペストコントロール1級技術者7名、ペストコントロール技能師3名、シロアリ施工技能士4名、防除作業従事者研修認定講師9名とこの業界に関わる資格をもった技術者集団である。もちろん資格だけに頼ることなく、昆虫やネズミに関する生態や駆除方法も熟知し、学術論文や学会報告も多数している(写真1)。



写真1 前列左より安居院顧問、清水副会長、元木理事、著者  
後列左より峰岸、渡邊賢、佐々木、渡邊徹、伊藤、小松、木村各委員

最近の実績では有害生物にかかわる都民の悩みを解決するために、ホームページ上で害虫相談を実施している。害虫の種類はゴキブリ、ハチ、トコジラミ、シロアリ、ダニ、蚊、ケムシ、ムカデ・ヤスデ・ゲジ、ノミ、害獣ではネズミ、ハクビシン、コウモリ、害鳥ではハト・カラス、爬虫類ではヘビが出来上がっている。それぞれHP上からクリックすると生態や防除方法が詳しく説明されている。また、現在は新たなテーマとして、ハエ、コバエ類、食品害虫、衣類害虫も追加して作成している最中である。興味ある方は東京都ペストコントロール協会のHP (<http://www.pestcontrol-tokyo.jp/index.html>) を検索してほしい(図1)。

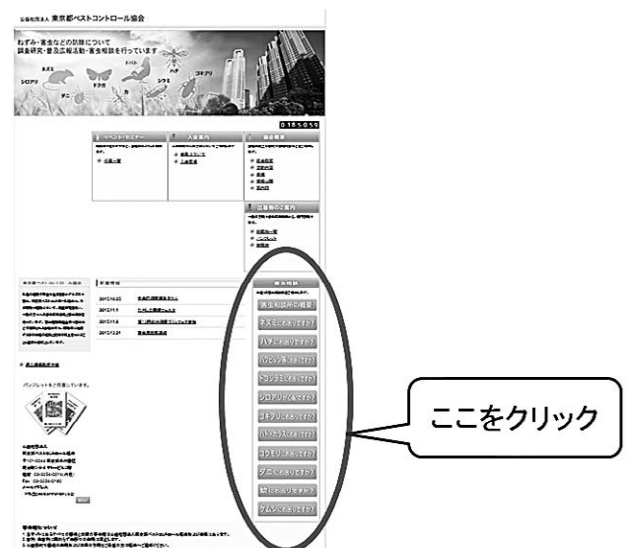


図1 東京都ペストコントロール協会ホームページ  
(枠内をクリックすると害種の生態と防除方法が分かる)

また、感染症対策マニュアル、トコジラミ防除マニュアル(日本協会協賛)も作成し、業界の技術の統一化、レベルアップ、そして都

# 東京都ペストコントロール協会技術委員会の活動

民の安心安全を第一に日夜活躍している。現在、PCOによるインフォームド・コンセントの手引きを作成し、害虫相談や防除作業時のトラブルに対応できるようにした(図2)。

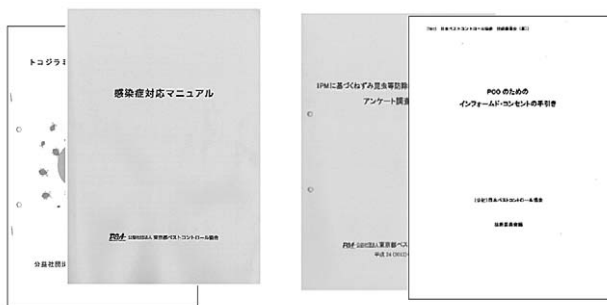


図2 技術委員が作成した最近の冊子

## PCOにおけるインフォームド・コンセントの目的

今回作成した「PCOにおけるインフォームド・コンセントの手引き」より、以下の文章を紹介する。『私たちの業務の目的は、お客様を有害生物の害から守ること、すなわち有害生物を防除することです。そのために私たちは日々勉強しながら技術の向上に努めています。もちろん、その防除の目的を達するためには、有害生物それぞれの生態や防除効果のある薬剤・機器類を知ることは大切です。さらに、お客様には防除対象種の生態や防除方法・薬剤の効果と影響等をわかりやすく説明することも必要です。

本来、インフォームド・コンセントとは、医療分野では患者が医師から十分な説明を受け、その説明を理解し、それに基づいて、どのような治療方針で疾患に対処するのかを判断するものです。したがって、医師は常に疾患に対する診断や知見とその根拠、治療方法、治療の目的と効果、ならびに予後の見通しについて説明し、同意を得ていくことが必要不

可欠になります。つまり、患者をお客様に、医師をPCOに置き換えると理解しやすいと思います。』

以上のようにインフォームド・コンセントは説明義務など業務内容や価格などをお客様に説明し、納得していただいてから施工することで都民の皆さんに安心と安全を提供したい。

## 今後の事業計画案

技術委員会では上記の他、今年のテーマとして以下の内容を検討したい。それぞれ非常に難易度も高いこともあるが、積極的に情報収集し検討したいと考えている。なお、以下の件は平成27年11月現在では計画段階である。

### その1：害虫同定業務

今期の事業計画として、害虫の同定業務を技術委員会が引き受ける。もちろん、一部の虫片や種までの同定は難しいが、公益事業の一つとして都民のサービスに貢献したい。

### その2：害虫相談員ハンドブックの校正

(公社)日本ペストコントロール協会が1992年に改訂版を出版した「害虫相談員ハンドブック」は、すでに20年以上も経過している。本件は日本協会と連携して3年計画で内容を刷新する。

### その3：デング熱等の情報収集

ヒトスジシマカ等の媒介蚊や感染性の高い害虫等についての情報を継続して収集し、情報に合わせて適切な防除対策等を都民に周知する。

### その4：異常発生、海外移入発生等の有害生物の調査研究

ツマアカスズメバチ、アルゼンチンアリ、セアカゴケグモ、ノロウイルスの変異株等の

最近異常発生した、また海外から移入発生した有害生物については、緊急に対応が求められるので、情報収集および防除対策等についての調査研究を強化する。

以上のほか、IPM普及活動や東京オリンピック開催時の感染症対策など、今後必要な情報

収集や予測される現象について検討を繰り返している。なお、技術委員会は年間6回ほど開催される。もし、何か相談したい案件などがあれば委員会で検討することができるので、その場合には東京都ペストコントロール協会事務局に連絡いただきたい。

